

玄海竜二特別公演を開催！ 大盛況で幕を降ろす!!

本年3月末をもって閉館予定の八幡市民会館で、昨年10月31日に「玄海竜二」一座をお迎えし、「市民会館さよなら公演」と銘を打った公演会が開催されました。玄海さんは、九州演劇協会会長を務められている著名な方で、数年前からご縁をいただいた関係で依頼をさせていただき、快くお引き受けいただきました。

当日は早朝から多くの熱心なファンが詰めかけ、開演時には大勢の方々が会場が埋め尽くされました。後半のお芝居では、私も一場面に登場させていただき、冷や汗をかきました。最後は笑いあり、涙ありの言葉どおり会場全体が感動の渦に包まれました。みなさんも大衆演劇や玄海さんのお芝居に触れる機会を是非とも作っていただき、ご覧いただければ幸いです。



北橋市政を中心に支え、本市の発展に尽力することをお誓いします。

さる11月27日、平成28年度予算についての要望を所属会派「ハートフル北九州」の皆さんとともに北橋市長へお渡ししました。この要望書は、会派の政策調査会長として、本市の山積する課題について詳細な点検や検討を重ね、予算要望の取りまとめを行ったものです。限りある大切な予算を市長の掲げる基本政策「人にやさしくまちは活力」の実現に向け有効活用するため、全体のバランスにも配慮した要望としました。私個人の要望事項としては、高齢者や子育て世代、障害をお持ちの方など、あらゆる世代を対象とする総合的な施策、また、学力向上や学習環境の整備を含めた教育施策、救急医療や災害にも対応できる医療体制の確立などを中心に提案しています。重要な課題は他にも多数ありますが、これからの北橋市政を中心的に支え、本市の発展に尽力することをお誓いします。

白石かずひろ後援会事務所移転のお知らせ

この度、後援会事務所を下記に移転いたしましたのでご案内申し上げます。これを機に白石かずひろは皆様のご期待に沿えるよう、更なる決意と努力で邁進し、皆様の声を市政へ届けてまいります。今後とも格別のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



〒805-0061
北九州市八幡東区西本町二丁目9-5
TEL: 093-681-6128 / FAX: 093-681-6138
E-mail: k-sris@hop.ocn.ne.jp

白石かずひろ後援会ご入会案内

白石かずひろ後援会では入会者を募集させていただいております。ご入会希望やお知り合いなどのご紹介などありましたら、上記の白石かずひろ後援会事務所までご連絡いただけますと幸いです。

なお、入会は随時行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

※年会費は3000円となっております

おがた林太郎代議士と共に 国政・市政報告会を開催

安全保障問題から新病院建設まで幅広くお話しいたします。ご期待下さい。

【日時】平成28年1月31日(日)13時～

【会場】八幡東生涯学習センター(八幡東区平野1-1-1)



いよいよ待望の新市立八幡病院が本年着工へ!!

～懸案の議員定数削減は4減で次回選挙から実施～



皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。早いもので、議会へ送っていただき、はや7年が経過いたしました。この間、表題にもお示したように、新市立八幡病院建て替えに伴う敷地拡大について、市議会保健病院委員長として汗をかき、北九州市議会でも初となる「提言」を行った結果、当初建設予定地が17,000㎡から24,000㎡へと拡大され、災害時の医療スペース、医療活動スペースの確保が可能となりました。また、皿倉山リニューアル計画の策定や桃園公園施設(プール)の再整備にも中心的に活動を行い、地域のにぎわいづくりや

皆様からのご要望等にも一定の成果をあげることができたと考えています。今後も、公共施設のマネジメントを踏まえた公共住宅の整理・統合などにも積極的に取り組んでまいります。

さて、12月議会が12月4日より11日(8日間)まで開催され、条例議案、補正予算議案等64件の議案が可決・成立しました。補正予算については、一般会計で33億9,494万円の増額、特別会計で7,293万円の増額を行い、補正後の予算規模は全会計で1兆3,923億5,686万円となりました。今回の補正予算の特徴としては、来年5月開催予定の「G7北九州エネルギー大臣会合」開催に向け今年度中に必要となる経費や、カンボジア王国のプノンペン都との姉妹都市提携に要する経費が計上されました。また、昨年8月に発生した台風15号により被災した道路、河川などの復旧に要する経費なども盛り込まれました。

なお、「議会改革協議会」の一員として私も関与してきた議員定数の削減問題については、4減(門司、小倉、若松、八幡東各1減)とし、次回(平成29年)選挙から実施する見込みとなりました。2月議会で定数条例の改正案を審議し、正式に決定する予定です。

本年は八幡東区にとって光が差し込んでくる「元氣スタート元年」にしたいと思います。しかし、課題は山積しており、下記に掲げた今年度の重点項目に引き続き取り組んでまいります。このほか、ご相談やご要望がありましたら、ご連絡をお願いいたします。

平成28年 白石かずひろの集中取り組み項目

- ① 高齢者や子育て世代などに配慮した「人にやさしい政治」の確立
- ② 安全・安心できる高度医療や救急医療の確立
- ③ 若者の流出を減らし、人材育成や雇用拡大につながる政策の確立
- ④ 障害者にやさしい施設の整備や現制度の問題点の解決
- ⑤ 地域のにぎわいにつながるインフラ整備の充実
- ⑥ いじめ問題や学力向上を含めた教育環境の充実



白石かずひろ
**市長
質疑**

平成27年9月北九州市議会定例会におきまして、会派「ハートフル北九州」を代表して市長質疑を行いました。紙面の都合上、前号で割愛した質疑答弁をご報告させていただきます。



東京オリンピックの事前キャンプ 誘致を見据えたプールの整備について

【白石質疑要旨】

2020年東京オリンピック事前キャンプ地誘致を希望する自治体が多いと聞く。中でも主要競技である水泳は、プール設備の充実が誘致の重要な要素となっている。現在、桃園プールの建て替えを検討しているが、キャンプ地誘致のエントリーを見据え、早めに整備することを考えてはどうか。



【市長答弁】

桃園公園施設はスポーツ・文化施設が集積している多くの市民から愛されている公園である。しかし施設については老朽化が進んでいる。利用状況やニーズを把握し、公共施設マネジメント計画との整合性を取りながら、施設の再整備や移転・廃止も視野に入れて今後の方針の検討に着手したところである。桃園市民プールは、市内で唯一の日本水泳連盟公認の50m屋内プールで年間約10万人の利用者がある。本市のスポーツ振興を図る上で重要な施設であるが、整備後50年以上が経過しており更新時期を迎えていると認識している。

2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地については、市民、地元財界、市議会、行政が一体となって誘致に取り組んでいる。提案いただいた市民プールを開催に合わせて整備することは、本市の優位性を高めることにも繋がり、キャンプ地誘致活動にも貢献するものと考えます。今後の施設整備の検討は、機を失することのないよう決断したい。

12月議会でキャンプ地誘致が大きく前進!!

～タイ王国スポーツ公社と「スポーツ交流協定」締結へ～

12月議会で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致の取り組みについて、平成28年早々にも「スポーツ全般に関する交流協定」をタイ王国のスポーツ公社と締結する事が明らかになりました。キャンプ地選定に向けて市長自らがスポーツ公社の副理事長と面会し締結につなげました。また、インドネシアのスポーツ省局長とも面会し、協定締結に向けた話し合いも進めています。環境・水ビジネスなどで協力関係があるその他の東南アジア諸国にも今後、働きかけていくことになりました。他にも、2019年ラグビーワールドカップのキャンプ地誘致ではイギリスを候補の一つとすることになり、在北九州英国名誉領事で市参与のローレンス・チヴァスさんや、ラグビー日本代表で市スポーツ大使の山田章仁選手などの協力も仰ぐこととなりました。このように、新球技場や改修予定の桃園新プールが完成しますと、経済効果はもとより様々な相乗効果が期待されます。プール整備は早急に検討するとされていますが、水泳競技の重要性などを考えると整備計画は疑いないものと確信しています。

ラグビー日本代表、山田章仁 選手が凱旋!!

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会が開催され、日本チームは当初の目標であるベスト8(決勝トーナメント進出)をかけ、初戦から強敵の南アフリカと対戦。終了間際に逆転のトライが決まり見事逆転勝利をあげました。この一戦は大会のベストゲームにも選ばれています。続くスコットランド戦は敗れたものの、サモア戦、アメリカ戦に完勝し3勝1敗で予選を終えました。勝ち点で僅かに及ばず決勝トーナメント進出を逃しましたが、その戦いは現在の空前のラグビーブームを作り出しました。中でも地元出身の山田章仁選手はサモア戦でトライを決め、各紙の1面を飾りました。山田選手は10月下旬に忙しい合間を縫って地元へ凱旋されましたが、北九州市民として、また八幡東区民として、とても誇らしく思います。4年後の2019年には日本大会が開催されますが、今回の快挙はこれに弾みをつける形となりました。また、来年(2017年)完成予定の新球技場の活用も期待されます。今後も山田選手のご活躍をお祈りしますとともに全力で応援させていただきます。



郷土の詩人「みずかみかずよ」 を知る集い開催

昨年、八幡東区尾倉に生まれた郷土の詩人、「みずかみかずよ」さんが生誕80年を迎えたことから、功績を讃える顕彰事業を開催。4月1日の誕生日には文学碑のある小伊藤山公園で誕生祭が開催され、献花式などが行なわれ、私も献花させていただきました。その後、コンサートや詩の朗読会なども行われました。みずかみさんは、地元の幼稚園に勤務しながら23歳で児童文学誌「小さい旗」に参加され、みずみずしい表現力で輝きを放つ作品は小学校の国語の教科書にも多く採用されています。このような著名な児童文学作家を多くの方々知っていただくと同時に「みずかみかずよ」さんの優しい世界に触れていただきたいと思います。10月3日開催の「みずかみかずよを知る集い」では東区議員を代表し、ご挨拶を申し上げます。改めて関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。



- みずかみかずよ(1935-1988)…詩人・児童文学作家
- 詩集「いのち」で第5回丸山豊記念現代詩賞を受賞
- 少年詩集「馬でかければ」、絵本「きんのストロー」など

【北九州三醸造士の会】 主催の「さけまつり」が開催

市内にある三つの蔵元、「溝上酒造(八幡東区)」「無法松酒造(小倉南区)」「門司港地ビール工房(門司区)」で結成された「北九州三醸造士の会」は、一昨年の北九州市制50周年を機に結成され、地酒の提供を通して酒文化継承の意義や、お酒の地産地消のさらなる推進、お酒でつながるネットワークの構築を目指しています。会の立ち上げは一昨年で昨年の市制50周年を記念し正式に結成されました。当初は7区それぞれで1回、持ち回りで広報をかねて開催されましたが、この度「はっぴ」や「のぼり」などのロゴを印刷したものなどをお披露目し活動を再開しました。一時は焼酎ブームで厳しい状況もありましたが、ようやく日本酒にも関心が集まりはじまりました。10月17日に北九州三醸造士の会主催の「さけまつり」が溝上酒造で開催され、お酒はもちろん屋台村もあり多くの日本酒ファンが訪れました。今後は持ち回りで開催予定のことですが、皆さんも酒文化継承を応援していただきたいと思います。これからの三醸造士の会の活動やイベントなどにも大いにご注目いただきたく思います。



ポテのひりごと



こんにちはポテトです！
皆さま、あけましておめでとうございます。今年も申年ですね！そう！父さんの年です。体型はともかく、父さんは当に「さる！」って感じですよ(笑) そんな父さんが昨年「はまった」出来事がありました。
10月末、玄海竜二さんの観劇会の時のことです。父さんもお芝居に飛び入り参加させていただくことになりました。ご近所の人のおいおじさん役で、少しの台詞ですが、着物を着て、化粧もしてもらって、本番直前に打ち合わせをしていざ舞台へ!! 観に来ていただいた方から、「上手でしたよ! だいたい練習したんでしょ!」とか褒められ、一座の方からも「着物の帯の位置が丁度いい」とお腹が出ていることが役に立ち、父さん満更でもなかったようです。母さんはてっきり悪代官役で「お前も悪よのう」っての期待してたみたいですが、父さんの演技にちょっとビックリポンでした! 今年も忙しい年になりそうですが、どうぞよろしくお願いたします。